

交

～南九州市・北九州市子ども交流事業～ 流で深める南北の絆

8月2日から4日にかけて、南九州・北九州市の小・中学生52名が北九州市で交流。名所や施設の見学、ミクニワールドスタジアムでのサッカー体験、



▲関門海峡をバックにノーフォーク広場での記念写真。

小倉駅での南九州市PR活動など、交流をととして友情の絆を深め、両市のふるさとの良さを発見する3日間となりました。

市

～南九州市第2次総合計画～ 市民会議提言書を提出

8月4日、第2次総合計画策定に関する市民会議提言書が市長へ提出されました。提言書は、20人の委員が4つの部会（産業経済・生活環境・保健福祉・教育文化）に分かれ、検討を重ねて作成。市では、この提言書などを参考にして、今年度中に総合計画の策定を進めます。



▲市長へ市民会議提言書を手渡す近藤友征委員長（写真右）。

親

～夏休み木工教室 in 南九州～ 子で木工製品作りに挑戦

8月10日、「夏休み木工教室 in 南九州」が額娃運動公園で開催。小・中学生と保護者ら約180人が、県・かごしま森林組合・市職員の指導のもと木工製品作りに挑戦し、ティッシュ箱や踏み台を作りました。



▲熱心に取り組む参加者。指導者や保護者と一緒に、約4時間かけて木工製品を作成。

この催しは、木のすばらしさを知ってもらおうと市みどりの推進協議会が毎年開催しています。

ゴ

～えいのゴッソイまつり～ ッソイ集まるお祭りだ！

8月20日、えいのゴッソイまつりが額娃運動公園で開催。毎年恒例となった牛のゴッソイ焼きや観光大使である高田みづえさんのトークショーなどの催しに、約1万人の観客が集まりました。



▲えいご（額娃語）を交えた楽しいトークで、多くの観客を魅了した高田みづえさん。

祭りの最後には2,500発の花火が打ち上がり、過ぎゆく夏の夜を彩りました。

祝

～知覧特攻平和会館～ 入館者1,900万人達成

知覧特攻平和会館の入館者が8月21日、1,900万人に達し、記念セレモニーが行われました。1,900万人目となったのは、愛知県稲沢市の加島章人さん



▲1,900万人目の加島章人さん（左から2番目）。お孫さんと一緒に来館。

で、市長から生涯無料入館券と知覧茶1年分が贈られました。加島さんは、「びっくりしたが、貴重な経験になった」と喜びを語りました。

道

～柳自治会・谷場自治会～ 路愛護優良団体表彰 伝達式

8月22日、道路愛護に顕著な功績のあった団体をたたえる伝達式が南九州市役所で行われ、国土交通大臣表彰を柳自治会が、県知事表彰を谷場自治会が



▲表彰状を手に持つ柳自治会長の鰐坂貞夫さん（左から2番目）と谷場自治会会長の下窪一輝さん（左から3番目）。

受賞されました。高齢化・過疎化の進む中、自治会全体での道路の愛護・環境整備への取り組みが認められたものです。

第28回スピーチコンテスト

～平和へのメッセージ from 知覧～



【中学生の部】最優秀賞
中金 望希 さん
(知覧中学校3年)

8月15日、第28回スピーチコンテストが開催され、中学生の部で最優秀賞に選ばれた中金望希さんのスピーチを紹介します。

「平和への一歩を」

私が生まれ育ったここ知覧は平和でのどかな町です。そして、太平洋戦争末期に陸軍特攻基地がおかれた悲しい歴史をもつ町でもあります。特攻作戦により出撃された方々を供養するために建てられた石灯籠は道路の両側に整然と並んでいます。普段目には見えない光景はあの日だけはなぜか違って見えました。

まだ寒さが残り、冷たい風が吹きつける三月の初旬の頃のことでした。私たちの学校は灯籠磨きを行いました。担当場所へ行くと自然とみんなの口数が減り、たわしで灯籠を磨く音が響くようになりました。昔が生えていることに気が

付くと、特攻隊員の方々に対して申し訳なく思えて、たわしを持つ手に力がこもりました。手が濡れているため、風が吹くたびに痛かったですが、戦場へ飛び立った隊員の方々の心の痛みに比べると小さなことだと感じました。

ふと石灯籠の下に目を向けると、出撃された方々の名前が書かれていました。その時、私は思いました。この方にはどんな物語があるのだろうか。この方はどんな思いを心に秘めて出撃されたのだろうか、と。もちろん誰も答えてはくれない問いかけですが、知らないからといってしまうのは目を背けることと同じではないでしょうか。

確かに、私も幼い頃知覧の歴史に目を背けてしまいました。戦争に関するドラマや映画がテレビで放送されとても怖かったからです。爆破や襲撃で負傷された人々や真珠湾攻撃で戦闘機が突撃する映像は衝撃的でした。悲しいことや怖いことから目を背けてしまうのは仕方がないことです。しかし、目を背け続けても前に進むことはできません。やはり受け入れて向き合うことが大切なのではないかと私は考えます。それまでじっくり見たことのなかった石灯籠。石灯籠や知覧の悲しい歴史から目を背けることは隊員の方々が最後まで未来の平和を祈り突撃されたことを、いろいろな思いを心に秘めて生きた証を否定することと同じな

のです。

複雑な気持ちのまま、時間になってしまい学校への帰り道、一つ一つ後ろへ過ぎていく石灯籠はいつもより輝いて見えました。それは特攻隊員の方々が温かく見守ってくださったように感じたからかもしれない。すうつと心の中の霧が晴れていきました。これから隊員の方々に嫌な思いをしてもらわないように知覧に住む私たちがこの活動を続けていかなければならないと強く感じました。

私達の生活は多大な犠牲の上に成り立っています。知覧の町に並んだ石灯籠と同じくらいいの命が未来の平和を願ひ飛びたれたというのを忘れてはなりません。隊員の方々が歩みたくても歩めなかった未来を私達は歩んでいます。当たり前のように。

知覧に生まれた私達の使命は、知覧の歴史を後世に語り継ぎ、平和の発信地としての知覧を担っていくことです。知覧に生まれた私達にしかできないことが何かあるはず。小さなことでも平和への一歩を踏み出すことはできると思います。これからも平和を語り継ぐ活動がもつと続いてくれるといいです。

そして、私達のためにかつて未来の平和を祈った人々の願いの証である石灯籠が、平和の象徴としてこの町を見守り続けてくれることを祈っています。

審査結果

中学生の部

最優秀賞

中金 望希 さん

優秀賞

知覧中学校3年(南九州市)

特選

柳田 実希 さん

特選

坂元中学校3年(鹿児島市)

特選

平岡 夏妃 さん

特選

鹿児島修学館中学校2年(鹿児島市)

特選

石窪美莉依 さん

高校生の部

最優秀賞

兼井 舞音 さん

優秀賞

鹿児島玉龍高等学校1年(鹿児島県)

特選

太田 葉月 さん

特選

聖ウルスラ学院英智高等学校2年(宮城県)

特選

原田かりん さん

特選

親和女子高等学校1年(兵庫県)

特選

鎌田 実里 さん

一般の部

最優秀賞

八幡 照子 さん

優秀賞

大野 裕子 さん

特選

福田 恵 さん

特選

田中吾飛夢 さん

特選

37歳

特選

(三重県)

特選

52歳

特選

(徳島県)

特選

56歳

特選

(愛媛県)

特選

80歳

特選

(広島県)

